

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語演習Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0143		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	1	
教科書/教材	『TOEIC L&Rテスト公式ボキャブラリーブック』(IIBC) 『TOEIC L&Rテスト文法特急』 『TOEIC L&Rテスト読解特急』(共に朝日新聞出版)				
担当教員	山村 啓人				
到達目標					
TOEICの基礎となる高校卒業レベルの英文法・構文を理解しながら、TOEICに頻出する語彙・フレーズを覚え、年間100点UPもしくは、最低500点取得を目指す。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
TOEICリーディング	英文の構造や英単語を理解し、TOEICテストのリーディングセクションの70%以上を理解することができる。		英文の構造や英単語を概ね理解し、TOEICテストのリーディングセクションの60%程度を理解することができる。		英文の構造や英単語をあまり理解しておらず、TOEICテストのリーディングセクションに対応することができない。
TOEICリスニング	TOEICテストのリスニングセクションの70%以上を理解することができる。		TOEICテストのリスニングセクションの60%程度を理解することができる。		TOEICテストのリスニングセクションがあまり理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
MCCコア科目					
教育方法等					
概要	本講義では、TOEIC TESTと同等レベルの問題を使い、リーディングセクション、特にPart5のとPart7の問題演習と講義を中心に授業を進める。TOEICに対応するためには、基本的に大学入試レベルの英語知識が前提となる。具体的には、3年次で学習した品詞とその働き、英語の文型や句、節などについての理解が確立されている必要がある。その上でTOEICに頻出する単語や表現などを増やししながら、問題に対応できるようにしていく。				
授業の進め方・方法	教員単独による個別問題演習、全体講義				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験80%、毎回行う単語テストを20%とし評価する。評価が60点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者は、その評価を60点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。</li> <li>・学修単位のため、授業外学習が必要である。</li> <li>(授業外学習・事前) 事前に授業内容を予習したり指示された課題に取り組んでおく。</li> <li>(授業外学習・事後) 理解した内容の復習や音読を十分に行う。</li> </ul>				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		2週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		3週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		4週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		5週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		6週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		7週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		8週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
	4thQ	9週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		10週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		11週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		12週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		13週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		14週	TOEICパート7形式の問題演習と解説	パート7のパスセージを正解に理解し、設問に答えることができる。	
		15週	期末試験		
		16週	試験返却とフィードバック		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合			
	定期試験	単語テスト	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0